兵庫県立山崎高等学校 令和4年度学校評価報告書

学校教育目標		重点目標	
時代がどのように変わろうとも、心豊かにたくましく生きていく人を育てる。 (1) ふるさとに学び、ふるさとを愛し、地域に貢献する人づくり。 (2) 学業と部活動に力一杯取り組み、高き理想に挑戦する人づくり。 (3) 夢をかたり、夢をはぐくみ、夢をかえる人づくり。		(1) 主体的に学習に取り組む姿勢を育み、進路目標に応じた学習の充実により、学力向上をめざす。 (2) 互いを尊重する思いやりの精神とともに、自他の命や人権を大切にすることを育む。 (3) キャリア教育を通して、学ぶ意義や将来の目標を見出し、キャリアプランニング能力を育むとともに、自立した社会人に必要な能力を培う。 (4) 地域と連携した活動により、ふるさと意識を育むとともに、人々との絆を深め、社会の一員としての自覚を高める。 (5) グローバル化の進展に対応して、語学力やコミュニケーション能力を高めるとともに、主体性や創造性、チャレンジ精神をもって行動する力を育む。 (6) 災害から得た教訓を生かし、助け合いの精神やボランティア精神を育むとともに、山崎断層帯に位置する学校として防災教育を推進し、災害への対応力を高める。 (7) 「ノー部活デー」、「ノー会議デー」、「定時退勤日」を完全実施し、勤務時間の適正化に努める。	
教育方針		令和4年度学校評価項目	
(1) 自らの可能性を信じ、困難や逆境に立ち向かう人を育てる。 (2) 郷土を愛し、地域の人々と支え合い協力して、兵庫の発展に貢献する人を育てる。 (3) 伝統と文化を尊重するとともに、多様な価値観を理解し、国際社会に貢献する人を育てる。 (4) 思いやりと寛容の心を持ち、命と人権を大切にすることを育てる。		評価の平均	令和4年度の取組と課題
令和4年度学校評価項目		評価の平均	学校評議員・保護者などの意見（抜粋）
学校運営	学校開かれたり	3.32	・本校webページのブログ欄の更新頻度をあげ、情報発信に努めている。 ・「山高タイムズ」（学校便り）を定期的、継続的に発行し、在校生の出身中学校や市役所、加生自治会、神姫バス山崎停留所などに配付し、情報発信に努めている。 ・コロナ禍で停滞気味だった地域の催しが、少しずつ復活しているので、積極的に参加して地域の活性化に貢献したい。
	連校携内	2.89	・各学校行事の反省を整理し、課題を共有して工夫・改善に取り組んでいる。
	生徒指導	2.89	・生徒が安全で安心して学校生活が送れるように校則の見直しを積極的に行った。また、多様な生き方を尊重するために、令和5年度からジェンダレスの制服の導入を決定することができた。急速に変化する社会に対応した校則の見直しを今後も検討していきたい。 ・教職員が生徒の声に耳を傾け、深く関わりを持ち、組織的に対応することに努めたことで、大きな生徒指導事案が著しく減少した。そのことから、学校の雰囲気以前より明るくなっている。
	進路指導	2.96	・昨年度に引き続き、生き方を考える講演会や命の大切さを考える講演会を実施した。特に、「ヘッドネーション」については、演題として、本校の卒業生が実施した講演会は、自他の命の大切さを考える良い機会となった。
	進路指導	3.07	・いじめのアンケートを年間5回全校生に実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めた。また、次年度に続き、夏季休業中に保護者向けのいじめに関するアンケートを実施、様々な観点でいじめの認知に努めた。
	進路指導	3.06	・昨年度に引き続き、生徒会が中心となり、山崎町内の保育園・幼稚園、さつき学級へ花を植えたプランターと花壇名「やまこうかだん」と記した看板を寄贈し、地域貢献に取り組んだ。 ・イオン山崎店で、生徒会や有志でウクライナを支援する活動の一環として募金活動を実施した。
	進路指導	2.90	・森と食科では、2年生を対象にインターンシップを実施し、地域の企業で関連する作業に触れることで勤労観・職業観を身につけることができた。
	進路指導	3.07	・生徒の希望進路に応じ、ガイダンスを実施し、進路実現に向けた取組について理解を深めることができた。
	進路指導	3.07	・企業と連絡を密に取ったり、応募前見学の推奨や面接指導や面接の充実に取り組み、確かな勤労観の育成を図った。 ・学力向上に向け、組織的に補習計画を立て、体系的に実施することができた。
	進路指導	2.90	・企業と連絡を密に取ったり、応募前見学の推奨や面接指導や面接の充実に取り組み、確かな勤労観の育成を図った。
学校運営	教員の資質向上	2.66	・研究授業、授業公開、授業評価の充実を図る。 ・若手教員が多いことからOJT (on the job training 職場で実務をさせること) による職業教育の充実を図り、学校教育現場での教員としての資質の向上を目指した。
	教員の資質向上	2.90	・主体的に研修会に参加するなど、課題意識をもって自己の研鑽に努めている。
教育課程	学習意欲の醸成	2.97	・令和4年度入学生（77回生）より、新学習指導要領が施行されることを受け、教育課程を大幅に見直し、多様化する生徒たちの進路希望に柔軟に対応可能な教育課程の編成を目指した。
	意欲の醸成	2.98	・本年度より始まったBYOD (Bring Your Own Device) を受け、効果的なICT機器の活用に向けた教員間での情報共有を密にしている。
	意欲の醸成	2.92	・森と食科では、実習や演習を充実させ、国有林などの関連施設の見学研修や、特別非常勤講師など民間人材を活用し、特色ある授業展開を行った。
課題教育	活動外	3.08	・ノー部活動デーを完全実施し、時間にゆとりを持った部活動が実施できている。 ・生徒自らが主体的に部活動に取り組んでいる。
	防災教育	3.22	・森と食科では、実習における安全教育を行っており安全の心得に基づき、安全な実習に取り組んでいる。 ・家庭クラブで防災袋作りについての呼びかけとアンケート調査を全校生徒対象に行った。 ・防災体験活動では、千人鍋で作る山高防災隊汁のレシピ作りを森と食科生徒が担当し、炊き出しの成功に貢献した。 ・防災体験活動では、西播磨県民局の協力をいただき防災士の指導の下、土嚢積み体験、ロープワーク、避難所の設置体験、AED使用体験などを行った。
	教育情報	3.08	・情報セキュリティ実施手順のとり、校内のセキュリティ対策を点検した。 ・個人情報の保存場所やパスワードの取り扱いについて確認し、適切に扱えるよう校内研修を行った。
	教育情報	3.09	・人権映画「いのちの停車場」鑑賞会を行った。また鑑賞会に向けて事前指導を行った。 ・生徒指導部と協力し、命の大切さを考える講演会「ヘッドネーション」を行った。 ・人権映画鑑賞会と命の大切さを考える講演会を振り返る人権LHRを実施した。 ・各取組を通じて、個々の生き方に関する考え方や、自他の命の大切さについて共有することで、将来の生き方について考える機会を設けた。
	活動外	3.06	・家庭クラブでウクライナ支援のための手作りカップケーキ緊急販売と募金活動を行った。 ・山高街の駅をイオンなどで開催し、地域の活性化に貢献した。

その他学（校評議員より）
 ・昨年度に引き続き評価報告を拝見し、総論として高等学校が取り組むべき課題の多さとその困難がよく理解できます。多岐にわたる項目に職員皆さんが奮闘しておられることに対して心から敬意を表します。ただ地域住民の評価や、ネット上にある本校の学力偏差値などを見聞するにつけ、なお一層のご努力をお願いしたいと思っていますので、どうかよろしくお願いたします。